

《進路講演会がありました！》

5月2日（月）創立記念式典のあと、マナートレーナー齋藤美佐子さんから「コミュニケーションの大切さ」と題して、ご講演いただきました。

コミュニケーションの必要性や挨拶の重要性をお話しいただきながら、「ハイオアシス」、「クッションことば」、「話す力と聴く力」について、ホワイトボードを使いながら、お話しいただきました。（写真右は、ハイオアシスの説明をする齋藤講師）



ハ：はい。 イ：いいえ。 オ：おはようございます。 ア：ありがとうございます。シ：失礼します。 ス：すみませんでした。

「きれいに見えるお辞儀」では、会釈・普通礼・敬礼の説明に加え、笑顔の大事さ、目線の大事さについて実技を交えお話しいただき、最前列に陣取った3年生達は、真剣に耳を傾けていたようです。

最後に、「心がいかに実直でも、形がこれに添わぬは無礼なり、形がいかに整えども、心がこれに伴わぬは虚礼なり」（「礼記」という中国の^{ことわざ} 諺から、心と形どちらも大切に、とお話しされました。

生徒を代表して、3年福祉科の佐藤愛さんが、「お話ししていただいたことを6月に行われる現場実習に活かしていきたいと」お礼の言葉を述べました。



「きれいに見えるお辞儀」の角度は



講演の様子



「お礼の言葉」を述べる佐藤さん

《生徒の感想》

- * 意思疎通を図るために、相手を思う気持ちが大切になると、先生はおっしゃっていた。
- * 人は生きている間に10万人もの人と会話するのだと知り、やはり、人はひとりでは生きていけないのだと思った。
- * レスポンスの大切さを教えていただいた。笑顔でうなずいたり、相手の目をしっかり見て話すことにより、より良いコミュニケーション力が高まった感じがした。
- * 常に、あいさつことばやクッション言葉が自然に使えるよう、心がけていきたいと思った。
- * 自分自身を研究して、自分自身を知り、自己分析してみることが大切だと分かりました。
- * お辞儀の仕方を学びましたが、基本は自然な笑顔から始まるということを知り、お互いが良い気持ちになるのでステキだなと思った。
- * 今日教えていただいたことは、必ず役に立つと思ったので、これからの生活の中で実践していこうと思った。